

事務 事業名	コード1	3100	企画事務費	課	企画政策課			
	コード2		地区懇談会	所属班	企画調整班			
				電話番号	62-5307	内線	213	
政策 体系	基本方針	6	共につくる夢のあるまちづくり	予算	会計		款	項
	施策	1	市民参画・協働の促進	科目	一般会計		02	01
	施策の展開	5	市民との対話の推進	根拠	特になし			
	基本事業	334	地区懇談会の開催	法令				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	市長が市内各地区(旭地区3か所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区それぞれ1か所の計6か所)に赴き、直接市民と話し合い地域の課題を伺うとともに、新しいまちづくりや地域の将来に対する意見・提案をいただく。 【業務の流れ】 日程及び場所の設定→市民への周知及び各種役員への通知→資料の作成→実施→提案等の集約→提案等への対応管理

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(24年度の実績)		単位:千円
需用費	5	消耗品・燃料費
役務費	62	通信運搬費
委託料	13	手話通訳委託料
	0	
② 延べ業務時間の内訳(24年度の実績)		単位:時間
企画立案	10時間	・ 市民への周知及び各種役員への通知
資料の作成	180時間	・ 当日実施等
	20時間	

事業費	費目内訳	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
事業費	1. 需用費	千円	5	6	5	39
	2. 役務費	千円	68	58	62	78
	3. 委託料	千円	16	14	13	48
		千円				
事業費計(A)		千円	89	78	80	165
うち一般財源		千円	89	78	80	165
人件費	正規職員従事人数	人	0.11	0.11	0.11	0.11
	延べ業務時間	時間	230	230	230	230
	人件費計(B)	千円	874	874	874	874
トータルコスト(A)+(B)		千円	963	952	954	1,039

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	24年度実績(24年度に行った主な活動) 旭地区3か所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区それぞれ1か所の計6か所で実施 25年度計画(25年度に計画している主な活動) 旭地区3か所並びに海上地区、飯岡地区及び干潟地区それぞれ1か所の計6か所で実施	ア 開催回数(箇所数)	回	6	6	6	6
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	市民	ア 人口	人	70,138	69,749	69,223	68,725
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	多くの市民が参加し、自らの要望・意見等を述べる。	ア 参加人数	人	494	556	600	700
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ 要望・意見数	件	84	110	116	120
	要望・意見等をまちづくりに結びつける。	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
		ア 要望・意見を取り入れた数(対応した数)	件	61	76	89	
		イ ()					
		イ ()					

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
平成17年の合併後、広く各地区の要望・意見等を聞きたいという意図で始まった。	特になし	市民から休日開催についての要望が寄せられた。

事務事業名	企画事務費 地区懇談会	課名	企画政策課	班名	企画調整班
-------	----------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 地区懇談会に多くの市民が参加し、意見・要望を述べ、それがまちづくりに結びつくことは、市民参画・協働によるまちづくりにつながる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 全市民を対象としており、開催の趣旨からも対象を限定すべきではないため、適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市民の市政への協働参加の促進は、市民の理解と協力のもと、まちづくりを進めていくことが不可欠である今日の行政にとっては必須である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 参加者、意見・要望は増えているが、広くまちづくりに結びついた事例はない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 いくつかのテーマを絞りその問題に対して意見を伺うなどの方法で行う。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(パブリックコメント、市長への手紙) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地区懇談会は、市民が市長と直接話し合う場として、パブリックコメント等他の市民の意見を聞く手法とは異なる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現況で最小限である。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 資料作成に要する時間はこれ以上短縮できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 受益者は全市民であり、かつ負担はない。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	現況では、市民の方々からの要望・意見等が広くまちづくりに結びついているとは言えないので、いくつかのテーマを絞った懇談が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止 ☐ 行政関与の見直し ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①平成25年度の開催時においては、いくつかのテーマを絞った懇談とする。 ②休日開催について検討し、実施する。																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①特になし ②特になし																								